

## 研修

平成 22 年度からの本校に講師を迎えて行った研修をみると、平成 26 年度を境に内容に変化が見られます。

平成 25 年度以前は、校内研究として取り組んでいたキャリア教育に関する研修と、就労にむけた制度や雇用企業を招いての研修が多く見られます。この研修内容については、24 年度から配置された就労支援コーディネーターの働きかけも大きく関わってきています。

平成 26 年度以降は、行動面に著しい課題がある生徒や、肢体不自由の児童への指導方法を中心として特別支援教育に関する研修が増加しました。

近年は、鳥取大学の三木裕和教授、和歌山大学の武田鉄郎教授を継続的に招き、児童生徒への具体的な指導方法の助言を得るとともに、校外の特別支援教育に関わる方を対象として講演も実施しています。

本校の児童生徒を対象とした研修に加え、小学校への訪問を通じて把握された「読み書きのつまずき」への取組に関する研修を平成 30 年から連続して行っています。

これまでは、各年度において指導講師を選定していましたが、令和元年より県立大学の園山繁樹教授、西村健一准教授に継続的に指導をうけることとしました。直接的な契機は令和 2 年度本校で開催される県知的障がい教育研究協議会研究大会の準備のためですが、増加する小学部児童への指導に対する助言を継続的にいただくために県内の専門家と連携していくことが有効であると考えたことによります。